

# 情報かわら版



川崎市立小学校情報教育研究会  
会長 岩田昭彦(宿河原小学校)  
平成30年8月 第3号  
担当 橘小学校 佐藤 譲

川崎市立小学校情報教育研究会のホームページです。ご覧ください！

## 授業づくりを通して情報活用能力の育成について考える！～夏季共済研修 2018～

平成30年7月24日(火)、川崎市立宿河原小学校にて情報・視聴覚センターとの共催研修が行われました。当日は、50名近くの参加があり、参加者一人一人が、課題を明確にもち、主体的に取り組む様子が見られました。

午前は、参加者全員で今回の研修の目的やねらい、研修のゴールについて共有しました。今回の研修のねらいは「実践事例の紹介や実技体験を通してICTの活用について考えること」「ICTを活用しながら情報活用能力を育成する授業づくりについて考えること」です。昨年度末に情報・視聴覚センター長期研究員と研究員が研究した成果物として作成された「情報活用能力チェックリスト2017」をもとに、情報活用能力を育成するための授業づくりをしていくことを話題にしました。その後、個人の興味や関心のある講座を6つの中から2つ選択し、スキル研修を行いました。以下、スキル研修の一覧と概要です。

◇50インチTV活用、タブレットPC・・・普通教室での50インチTVや実物投影機、タブレットPCや活用方法の紹介、体験活動など

◇思考ツール・・・思考ツールを用いる目的や実践報告、体験活動など

◇キューブきっず、動画作成・・・キューブのソフトを使った実践報告、体験活動など

◇NHK for School活用・・・放送番組を使った活用場面や実践報告の紹介など

◇思考ツール・・・思考ツールを用いる目的や実践報告、体験活動など

◇プログラミング教育・・・プログラミング教育の背景、教材体験活動など

◇情報モラル・・・新学習指導要領での位置付け、教材体験活動など

スキル研修で学んだことを、グループの中で情報交換をし、共有化を図りました。午後の授業作りに向けて、使えるような素材やツールなどが見つかったようでした。



「アンプラグド」のプログラミング教材の体験

「チェックリスト」の活用を！



「思考ツール」を使って考えを広げ、整理分析しました！



タブレットPCで撮影した動画を確認

午後は、グループに分かれての授業作りを行いました。「〇年生ならどんな場面で情報活用能力を育成することができるか。」その上で「午前中のスキル研修をどこで活用できそうか。」などを話し合いました。およそ2時間のグループワークの中で、先生たちが主体的に課題と向き合い、同じグループの先生とも進んで話し合い、よりよい授業になるように練り上げる様子がたくさん見られました。

全体会では、各グループが3分という短い時間の中で模擬授業や実際に作った成果物などを見せながら、具体的な授業場面について工夫された発表が数多くありました。

講師の情報・視聴覚センター 草柳譲治指導主事からは、新学習指導要領の内容をふまえて今回の研修について振り返っていただきました。「少し先の未来を考えてみると・・・」というキーワードをもとに子どもたちの生きている現在、将来の社会が予測困難な中で、子どもたちに情報活用能力を育てていくことがとても重要であるとのことをご助言をいただきました。そして、夏休み明けに学校で子どもたちの情報活用能力を伸ばすことができるように、今回の研修で学んだこととあわせて、上記した「情報活用能力チェックリスト2017」を生かしてほしいともアドバイスをいただきました。

